

2022（令和4）年度 実践FS研究計画書

実践FS申請者	所属	
	職名	
	氏名	
実践FS研究課題名	和文	
	英文	

注） 1～4番までを4ページ以内、5番は5ページ以内で記載してください。

記載にあたっては、1. 研究の範囲とその重要性 2. 学術的な質と方法論 3. 健全なプロジェクト設計 を踏まえてください。

1 研究概要

本計画の概要について、和文（400文字程度）にて記載してください。

2 研究目的

3 研究計画・方法

4 期待される成果

5 研究遂行能力（業績を含む）

発表した論文、著書、招待講演、受賞歴などの一般的な研究業績の他、本FS研究の運営に資すると推測される共同研究の運営実績、外部資金の獲得実績、あるいは社会における実践的な取り組み実績などの本共同研究に係る業績を、網羅的ではなく研究計画の実行可能性の根拠となるよう記入してください。主に、過去5年分の業績を中心に記載し、それ以前でも本研究課題に関係の深い業績などは記載してもかまいません。記載にあたっては、現在から発表年次ごとにさかのぼり、通し番号を付加してください。なお、実践FS申請者には下線を付し、査読の有無を記載してください。

6 予算計画 上限金額 4,000 千円

6 番にはページ数の制限は設けません。

研究経費合計（千円） 4,000千円以内		内訳（千円）					
		消耗品費	旅費	謝金	その他		
0		0	0	0	0		
消耗品費の明細		旅費の明細		謝金の明細		その他の明細	
事項	金額 (千円)	事項	金額 (千円)	事項	金額 (千円)	事項	金額 (千円)
例) ソフトウェア (〇〇〇)	50	例) 研究打合せ 東京～京都、3日間×3 名	180	例) 資料整理	100	例) 英文校閲	100
消耗品費、旅費、謝金、その他の必要性							

消耗品費：ソフトウェア等を含む消耗品

旅費：資料収集やフィールドワーク、打合せ等の旅費

諸謝金：研究調査協力等の謝金

その他：上記以外

※FS段階では、原則、人の雇用はできません。

※FS段階では、設備備品（単価10万円以上の機器類等）の購入は認められません。

7 研究参画（予定）者

氏 名	所属機関	職 名	役割分担

※ ご本人の承諾を得てから記載してください。